

連合兵庫 2024政策研究集会 主催者挨拶(要旨)

2024.7.30(火)14:30~

神戸市教育会館 6 階大ホール/Web

みなさん、こんにちは。連合兵庫の福永です。

本「2024政策研究集会」に、リアルおよび Web で、構成組織、地域協議会、フォーラム議員の多くの皆さんに参加を頂き、感謝申し上げます。

また皆さんには、連合のめざす「働くことを軸とする安心社会」に向けた政策実現のため、日々ご奮闘いただいていることに、あらためて敬意を表します。

2024 春闘は、各労組の取り組み努力によって、33 年ぶりの5%を越える高い水準での賃上げを実現し、経済も賃金も物価も安定的に上昇する経済・社会へとステージ転換する足掛かりとなりました。

そして、このステージ転換を確かなものとしていくには、少子高齢化による生産年齢人口の減少・格差の拡大と貧困の固定化など、日本の抱える構造課題を政策によって解決していかなければなりません。

とりわけ、所得再分配機能の強化と低所得者対策、税と社会保障の一体改革による重層的なセーフティネットを構築し、国民の将来不安の払しょくにつながる抜本改革議論を深めていくことが急がれます。

加えて、雇用の安定と公正な労働条件の確保、DX・GXなど新たな成長分野への積極的な投資と、産業構造の変化に対する「公正な移行」を実現していく必要もあります。

連合は、その実現に向けた政策提言として、働く者、生活者の声を集め、「2024 年度連合の重点政策」をとりまとめ、いま、連合本部を中心に各省庁要請を展開しています。

一方、連合兵庫は、本年 1 月 30 日に開催した兵庫県、兵庫労働局、兵庫県経営者協会、兵庫県商工会議所連合会、兵庫県商工会連合会、兵庫県中小企業団体中央会との政労使会議において、「デフレ経済やコロナ禍の苦難を乗り越え、兵庫経済の好循環を実現するため、昨年を上回る賃上げ、労務費等の適切な価格転嫁、生産性向上、投資の拡大にオール兵庫で取り組む」とする共同メッセージを確認し、その実現に努力をして参りました。

また、このあと森田副事務局長から報告いたしますが、現在、県・各市町、労働局への「政策・制度要請」の準備も進めています。

いずれにしても、私たち連合は、「誰もが公正な労働条件のもと、多様な働き方を通じて社会に参加でき、自己実現に挑戦できるセーフティネットが組み込まれている活力あふれる参加型社会」「年齢や性、国籍の違い、障がいの有無などにかかわらず多様性を受け入れ、互いに認め支え合い、誰一人取り残されることのない働くことを軸とする安心社会」を、引き続きめざして参ります。

さて、本研究集会は、連合の「政策・制度要求」と「重点政策」への理解を深めること、および、「地域課題」について、共有を図ること、を目的としています。

本日の講演、第 1 部では、「兵庫県産業労働部次長の團野様」より、「兵庫県令和 6 年度の産業労働部主要施策」と題してご講演をいただき、第 2 部では、兵庫労働局の「雇用環境・均等部企画課の和田様」、「労働基準部監督課の洲崎様」、「職業安定部職業安定課の箸方様」より、「令和 6 年度兵庫労働局行政運営方針」と題して、ご講演をいただきます。

連合兵庫は、引き続き、政策実現の取り組みを強化して参ります。

その意味で、本研究集会在、「意義ある場」となりますことを祈念し、主催者挨拶とします。宜しくお願いします。